

アイ・ラブ・ピアノ

I Love Piano

長野県諏訪
二葉高等学校に残る
明治時代の国産ピアノ

創立100周年記念事業の一環で、 100年以上前の音色を再生修復

創立116年の歴史をもつ長野県諏訪二葉高等学校。前身である諏訪高等女学校時代の新校舎完成に合わせて購入された、国産のアップライトピアノが今も健在だ。日本のピアノ製造史にその名を残す松本新吉製造による「松本ピアノ」だ。2007(平成19)年、創立100周年記念事業の一環として復元修復され、現在も演奏されている貴重なピアノを紹介しよう。

4本ペダルで“チェンバロ”機能付き「明治のピアノ」



上前板や脚部の彫刻の意匠は力強く重厚感に満ち、ウォールナット木地塗りが美しい。4本のペダルが特徴で、チェンバロに似た音色を奏でることができる。1911(明治44)年に購入された。明治末期製造/85鍵/製造番号:1344

諏訪二葉の歴史に寄り添い、 伝統とともに生きていく



もう一つの 宝! 日本楽器製造(現ヤマハ)の リードオルガン

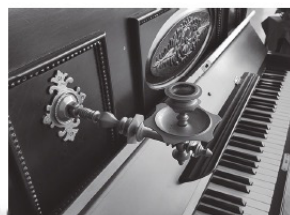
両サイドに燭台が付き、前面には手の込んだ透かし彫りが施されている。ペダルの縦琴模様も美しく再現。1916(大正5)年製造/ストップ4本/製造番号:123048



弦と並行して鍵盤の長さに合わせて全音階ハーツが付いている。「取り外し可能。1枚1枚は金属チップが取り付けられている」



左から2番目の4番目のペダルを踏むと、ハンマーの打弦距離が変わって全音階チップを叩き、チェンバロに似た音色を奏でる。



上前板の燭台は真鍮製。100年以上前のピアノにも関わらず「対して残っているケースは珍しく保存状態の良さを証明している」

明治のピアノと奏でる ロビーコンサート

二葉祭(文化祭)2日目の7/2(日)、同校同窓会と生徒会主催による「明治のピアノと奏でるロビーコンサート」が開催された。在校生や保護者も参加して、歌やチェロなどと合わせた演奏や連弾、ソロ演奏が披露された。

